

守口市立中学校等給食実施方針（案）のパブリックコメント意見と意見に対する考え方

【募集期間】令和7年1月28日（火）～令和7年2月26日（水）まで

【募集方法】広報もりぐち2月号及び市ホームページに募集概要を掲載し、メール、郵送、FAX、各公共施設の応募箱への投函により受付

【件数】20件

番号	校番	意見	本市の考え方
1	1	全員給食の速やかな実施と、無償化を希望します。	中学校等給食の全員喫食は、さつき学園においては令和8年4月、中学校（さつき学園及び八雲中学校を除く。）では令和8年9月、八雲中学校においては令和9年4月の八雲学園開校に合わせ、開始できるよう取り組みます。 中学校等給食の無償化の実施については、多大な支出を伴うことから、国における議論等を注視しつつ、今後、財政状況も踏まえ、慎重に検討します。
2	1	全員喫食、全校自校調理、そして給食費無償化の実現めざしてください。第3回の中学校給食実施検討委員会で、『他の学校でも校舎建て替えの際に見直すことは考えている。デリバリーと決めたらさつきとデリバリーとは考えていない。』と教育委員会の担当の方が発言されました。大阪府下では、多くの自治体で中学校給食の全員喫食となり、デリバリー方式から自校又は親子方式へと変更され、生徒も保護者も教職員も納得のいく給食になってきています。守口市でも一刻も早い中学校での全員喫食を実現して頂きたいです。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。 提供方式については、多くの自治体でも、その置かれている状況や、施設規模等を総合的に判断して適切な方式を決定し、導入されているものであるため、それぞれの方式に特徴はあるものの、様々な工夫等により対応ができると考えます。本市においても、様々な検討の結果として、さつき学園及び八雲学園においては自校方式、それ以外の中学校においてはデリバリー方式により給食を実施する方針です。 一方で、施設の老朽化等により、将来的に市立学校全体の校舎の大規模な建替等を実施する必要がある場合などには、その時点で、給食の提供方式等についても、検討することと考えます。
2	2	デリバリーでは提供数の確保が難しいということも出されています。また、アレルギー食対応や不登校生徒の給食対応の問題も出されていました。これらのことに対しては自校調理方式で一定解決できることだと考えます。自校調理方式は民間委託ではなく、守口市で直接、栄養士・調理員を採用して市職員による調理、食器洗浄片付けをすることが、生徒の思いを市がじかにくみ取ることに近づき、学校給食をより望ましいものに発展させることとなります。小学校給食を守口市の直接運営にもどし、中学校給食も同様にしてください。安心安全の給食の実施には、校舎建て替えの際と言わず、全ての学校での今後の中学校の望ましい施設整備を検討し、計画的に自校方式での給食提供ができるようすすめてほしいと思います。同じ守口市に住み、守口市立中学校に通学している生徒が、給食の提供スタイルが違うというのは一刻も早くなくしてほしいです。「全員喫食、全校自校調理、そして給食費無償化」を出来る事ならすべて同時にそして一日も早く実現できるように進めてください。守口市として予算のつかい方にかかっています。未来ある子どもたちの心身の成長発達をより良いものにするための予算を組み立てて下さい。	デリバリー方式において、民間事業者毎の提供可能な食数に差異があることについては、2者以上による給食提供とするなどの運用により対応が可能であり、一定のアレルギー対応も可能であると考えます。 調理業務については、学校給食を取り巻く社会的情勢等を踏まえ、業務委託を前提としています。 また、市内の中学校等の給食の提供方式が異なることについては、各学校の特性等を踏まえた検討の結果ですが、いずれの学校においても、基本方針に掲げる中学校等給食の実現に向け、鋭意取り組みます。
3	1	守口市立中学校給食の全員喫食制の実施にあたっては、守口市直営による自校調理方式で、無償での実施を求めます。 生徒・保護者のアンケート結果においては、おいしくて安全な食材を使っていて衛生面で配慮された給食を求める声が多いです。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられる給食、バランス良く栄養を摂取できる給食を実施していただけるようお願いいたします。	提供方式については、No.2-1に同じです。 中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。 中学校等給食の全員喫食制の導入にあたっては、アンケート結果等も踏まえ、基本方針に掲げる「安全・安心な給食」、「栄養バランスの取れた魅力的な給食」などの実現に鋭意取り組みます。
3	2	日本国憲法第26条第2項に「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育は、これを無償とする」とあります。守口市立学校における中学校給食の実施は、守口市に公的責務があるものと考えます。守口市直営による中学校給食の実施を求めます。	中学校等給食については、学校給食法等に基づき、義務教育諸学校の設置者である本市の任務として、実施するものです。 調理業務については、No.2-2に同じです。
3	3	学校給食法第11条には、いわゆる「学校給食費」は保護者の負担とするものがありますが、憲法第26条「義務教育は無償」の規程がありますし、昨今では全国76の自治体で給食費無償が実施されています。また、国会でも公立小中学校の給食費無償化が論議されています。守口市においても、小学校と共に中学校についても給食費無償化を実施するべきであると考えます。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
3	4	今回の「守口市立中学校給食実施方針（案）」では、自校調理方式・親子方式は実施困難とし、民間調理業者によるデリバリー方式による実施が方針とされています。施設設備の改修が現状では困難ということが理由のようですが、早期に守口市直営による自校調理方式、できるところからは親子方式からでも実施できるように方策を考えていく必要があるとします。	提供方式については、No.2-1に同じです。
3	5	「ランチボックス形式であれば再加熱対応が可能」とされていますが、プラスチック製のランチボックスを加熱したときに異臭や有害物質の発生が懸念されます。かつて、寝屋川市立中学校での悪い例があります。実施にあたっては民間業者との十分な協議をお願いします。	ランチボックス形式によって再加熱し、給食を提供する場合には、安全性等も考慮した適切な容器を選定します。

4	1	<p>基本方針4「持続可能な給食」の提供方式としては、自校方式が最善と思いますが、必要な面積・施工性において現状では不可能ならば、次善の方式として市立給食センター方式が良いです。センター方式の場合は「現状では本市域内において適地を確保できる見込みがないため、センター方式の導入はできません。」と(案)17ページに記載されているほかは、支障要因は特に記されていません。</p> <p>令和7年2月20日に瀬野市長が定例議会で表明され、市ホームページに掲載されている「令和7年度 市政運営方針(要旨)」によりますと、旧寺方小学校跡地における新たな市民体育館の整備について断念せざるをえないとのこと。私は給食センターを公有地に建設する場合、この旧寺方小跡地は、敷地面積の目安を十分満たし、最適と考えます。同地は、準工業地域・工業地域ではありませんが、民間の大規模工場がある準工業地域に道路をはさんで接し、また大枝公園にも道路をはさんで接しています。給食センターは周辺との調和を乱すことなく、住環境に配慮しつつ建設することが可能で、災害時には炊出し拠点としても活用できるでしょう。</p> <p>「持続可能な給食」のための必要施設である給食センターの建設は次世代への意義ある投資です。市立給食センターの高い公益性に鑑み、建築基準法第48条第13項ただし書き等に基づく用途地域の変更手続きを行ったうえで旧寺方小跡地を中学校等全員喫食制実現のために活用すべきと考えます。</p>	<p>センター方式の導入については、想定食数3,500食/日の機能を有する給食センター設置に要する敷地面積の目安は、約6,000㎡であり、かつ、給食センターは建築基準法上の用途が「工場」となるため、都市計画法に基づく用途地域が「準工業地域」、「工業地域」または「工業専用地域」であることが必要です。</p> <p>旧寺方小学校跡地への給食センターの設置については、用途地域が「第二種中高層住居専用地域」であるため、例外的な場合を除き、建築基準法第48条第4項の規定に基づき、給食センターの建築はできません。</p> <p>以上のことから、本市の中学校等給食を取り巻く様々な状況も勘案し、現状では本市域内において適地を確保できる見込みがないため、センター方式の導入はできないと考えます。</p>
4	2	(案)18ページの「給食費」については、できるだけ早い時期に無償化を実現されたいですが、それまでは家計負担の軽減のために給食費の補助措置をとられることを望みます。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
4	3	(案)7ページの(3)本市の中学校等給食の実施状況 ①提供方法の9行目の「各学校」というところは「学校」と表記するのが適切ではないでしょうか。	「食材は、決定した献立に必要な物資を保護者から徴収した給食費を原資として、本市が調達し、各学校へ配送しており、学校では委託業者による検品・調理が行われます。」と修正します。
5	1	<p>守口市の中学校給食全員喫食無料に賛成します。しかし、デリバリー方式の実施には反対です。給食調理室の規模の問題は理解できますので、すぐにできるのはデリバリー方式だとしても、給食調理室を規模拡張し、自校調理方式で実施できるようにしていく方向にすべきです。その理由はまずおいしさ、温かさが違います。食の喜びは単に栄養を摂取するだけではなく、おいしく味わうことです。これが出ているのは自校調理方式です。第2に、災害等で避難者に食事を提供できるようにするためにも調理場が必要です。いつ大災害が起こるかわからない昨今、地域に調理場がある避難所は必要不可欠です。以上のことから、給食の実施は自校調理方式で行うよう提案します。</p>	<p>提供方式については、No.2-1に同じです。</p> <p>また、現在のランチルームの改修及び改築・増築についても検討しましたが、改修にあたっては必要面積が不足することに加え、改築・増築にあたっては、余剰スペースや校舎との近接状況、建設機械・食材の搬入等の運用面からの施工性を鑑み、現状を踏まえると、自校方式の導入はできないと考えます。</p> <p>一方で、給食のおいしさや温かさについては、デリバリー方式による実施においても、鋭意取り組みます。</p> <p>また、避難所における炊出しの必要性については、実施方針の所管外であるため、本市の考え方を示すことは差し控えます。</p>
6	1	<p>センター方式や親子方式は、可能性が低い、できないといった内容の計画ですが...子どもたちにとって、一番おいしく出来たての給食を食べてもらうには、やはり何といても、「直営自校調理方式」がベストだと考えます。予算の同題や、敷地内に調理室の設置は無理ということですが。現存の中学校が老朽化していずれは建て替えとなった時には、給食調理室もぜひ計画に入れて欲しいと願います。</p> <p>デリバリー給食となっても、問題点はありますが、全員が同じ献立の栄養バランスの取れた給食を毎日、食べられるように、早期の実現を望みます。</p>	<p>提供方式及び施設の老朽化等により、将来的に市立学校全体の校舎の大規模な建替等を実施する必要がある場合などについては、No.2-1に同じです。</p> <p>また、全員喫食制による中学校等給食については、基本方針に掲げる「安全・安心な給食」や「栄養バランスの取れた魅力的な給食」などの実現を目指し、鋭意取り組みます。</p>
7	1	成長期の子供にとって1食は大切なものです。栄養を考えて出来たら自校方式、それができなければ親子方式でお願いします。デリバリーは手軽ですが、子供の満足度は低いと思います。	提供方式については、No.2-1に同じです。
8	1	成長期の子供の食の大切さにもっと気をつけて下さい。さつきのように親子方式を希望します。	提供方式については、No.2-1に同じです。
9	1	自校方式で温かくおいしい給食を。	<p>提供方式については、No.2-1に同じです。</p> <p>一方で、給食のおいしさや温かさについては、デリバリー方式による実施においても、鋭意取り組みます。</p>
9	2	子どもたちは、教育をうける権利をもっています。食育のためにも、無償にて提供して下さい。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
9	3	自校に給食室(調理室)があれば、災害時避難所としても対応しやすいのでは。	避難所における炊出しの必要性については、No.5-1に同じです。
9	4	守口市の未来のために教育にもっと予算を使って下さい。	<p>本市においては、これまでもソフト・ハードの両面から、教育施策を積極的に展開してきたものと考えます。</p> <p>また、今般の全員喫食制による中学校等給食の実施も、子育て世帯の定住促進を図り、活気あふれるまちづくりを実現していくための未来への投資促進の一環であると考えます。</p>
10	1	<p>中学校給食(全員)を実施していただけるのはほんとに嬉しいです。食べがりの子どもを持つ親の世代は、同時に働き盛りです。私たちの時代は、毎朝お弁当を作ってやるのも親の愛情かと、一生けんめい作ってきました。どうしても作れない時は、学校にあった食堂や(学校で売っていた)パンを購入することもありました。</p> <p>是非とも全員喫食の給食を実施して下さい。</p> <p>できれば自校方式で(義務教育学校は小学校と一緒に)なので自校方式です。守口内で差が生じることはおかしいと思います。</p>	<p>提供方式については、No.2-1に同じです。</p> <p>中学校等給食の全員喫食制の導入については、今後、実施方針に基づき、鋭意取り組みます。</p>
10	2	安心、安全な国産の食材を使ってほしいです。	食材については、「守口市立中学校給食献立作成大要」に基づき、国内産を基本として使用するとともに、手作りを基本とするため、和風だしは削り節・昆布からとるなど可能な限り既製品を食材とすることがないよう努めます。
10	3	無償でお願いしたいです。これからは生きる子ども達に“食”はとても大切なこと。予算を他からまわしてでも確保してほしい。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。

11	1	守口市で中学校給食が開始されることは、息子達が中学生だった35年以上前から実施を願っていた市民の一人として喜んでいきます。そんな中で以下のことを希望します。 デリバリーでの給食実施には反対します。アンケート結果から6割近くの子も達が食べた経験がない事もあり、デリバリー方式で進められている事に反対です。 給食実施は自校炊飯、もしくは、守口市内でも一部で行なわれている親子方式での実施を望みます。	提供方式については、No.2-1に同じです。
11	2	小学校と同様、中学校給食の早期無償化を望みます。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
12	1	孫が庭窪中学1年でデリバリーの昼食を食べています。おいしいと聞けばおいしいと返事ですが、クラスで2、3名らしいです。 手続きがややこしいという意見を他の方にきいたりしています。	全員喫食制導入後の給食費の徴収等の手続については、利便性の向上の観点から、分かりやすく、効率的なものとなるよう努めます。
13	1	自校方式で給食を提供してください。災害時にも避難所として使われる時、調理室があれば食事を提供できます。そして、給食は教育の一環なので、無償にしてください。	提供方式については、No.2-1に同じです。 避難所における炊出しの必要性については、No.5-1に同じです。 中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
14	1	泉大津市のような、“オーガニック給食”の実現!!が望ましいが、そこまでいなくてもその土地のおいしい食材、“地産地消”で子ども達に活気のある給食をぜひ実現してあげて欲しい。	地産地消の促進については、学校給食に国内産の食材を使用することはもとより、守口市産や大阪府産といった地場産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用します。
14	2	「コラボ給食」はとても良い。若者のアイデアやエネルギーをぜひ取り入れてほしい。	市内大学との連携による「コラボ給食」の実施をはじめとする様々な取組みを展開し、魅力的な献立となるよう努めます。
14	3	できるだけ、余計な添加物は使わず「まごわおいしい」を基本とした和食が日本人本来の体にあった食事	食材については、No.10-2に同じです。
14	4	パン・牛乳は不必要	本市の学校給食においては、国が示す学校給食摂取基準の内容を踏まえ、栄養価の充足とともに、多様な食品を適切に組み合わせ、食品構成の充実にも努め、児童生徒の嗜好の偏りをなくすよう配慮して、献立を作成しており、そのためにはパン及び牛乳の使用は不可欠なものと考えています。 また、学校給食法施行規則第1条第2項においても、「完全給食とは、給食内容がパン又は米飯（これらに準ずる小麦粉食品、米加工食品その他の食品を含む。）、ミルク及びおかずである給食をいう。」とされているなど、牛乳は学校給食に欠かせないものとされています。
14	5	自校方式を強く希望します！！	提供方式については、No.2-1に同じです。
15	1	ぼくは学校でもきゅう食が食べたいです。 みんなで食べるきゅう食の時間が好きだからです。	貴重なご意見ありがとうございます。 全員喫食制による中学校等給食の実施にあたって、楽しく食事をすることの重要性を一層感じていただけるような様々な取組みを展開し、引き続き、魅力的な給食となるよう鋭意取り組みます。
15	2	中学校の全員給食賛成です。 家庭だけではどうしてもメニューが偏るので、色々なメニューを給食で体験してくれたらうれしいです。みんなで同じ給食を食べる時間を楽しんでほしいです。	献立については、心身の成長が著しい時期の生徒が、おいしく、必要な栄養素及びエネルギーを適正にバランス良く摂取できるとともに、学校給食を通して、行事や季節、多様な文化に触れることもできるような魅力的な献立の実現にも努めます。
16	1	中学校給食が、実施されるようになると聞き、たいへんうれしく思います。が、成長盛りの子どもたちの給食に、デリバリー方式の給食はどうかと思います。せめて、センター方式の給食にしてほしいと思います。土地は、民営化してきた土地があるわけではありませんか。 センター式だと災害時も、市民に食事が提供できると思います。	提供方式については、No.2-1に同じです。 また、3,500食/日の機能を有するセンター設置に要する敷地面積の目安は、約6,000㎡(用途地域：準工業地域以上)ですが、現状では本市域内において適地を確保できる見込みがないため、センター方式の導入はできません。 避難所における炊出しの必要性については、No.5-1に同じです。
17	1	私は昭和45年生、守口一中卒業です。当時は食堂があり、弁当の友達も一緒に食堂で食べたり、教室で食べたりしてました。 一番問題だと思うのは、経済的に差があり、子たちが同じく食べれない現状です。今回の全員給食制に移行する事は大変成です。小学校の様に自校方式がベストだと思われませんが、改修の問題等で、デリバリー式しか、仕方ないのかも知れません。 デリバリー、外部委託になると、質の低下が心配です。定期的な品質のチェック、(親等、栄養師等)を必ずすべきだと思います。	提供方式については、No.2-1に同じです。 民間事業者の調理場を活用したデリバリー方式による中学校給食の提供においても、基本方針に掲げる「安全・安心な給食」、「栄養バランスの取れた魅力的な給食」などの実現に鋭意取り組みます。
17	2	昨今の物価高、生活苦を考え、早急に完全給食無償化を実現して頂きたいです。今春、長女が堀中学校へ進学致します。 ランチルームを見ましたが、お洒落でした。理想はもっと広い部屋でクラス全員と一緒に食べ、楽しく話せる空間があればと思います。 市も子たちの環境造りに、もっと予算を増やして欲しいです。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。
17	3	小・中、子たちが、貧富の差がない食育と、調理法をもっと学ぶ為家庭科の授業を増やすべきです。冊紙にありました、大学とのコラボ給食はすばらしい案です。父兄参加型のコラボ等もいいと思います。子たちにもっと食材についての情報、(栄養面、地域性、旬の時期等)ジャンクフード、ドリンク等の弊害をもっと教えるべきです。(タバコ、アルコール、ドラッグ等も) 守口市の未来ある子たちの健やかな成長を祈っております。	食育の推進については、給食の時間を中心に、各教科等における食に関する指導を相互に関連付け、総合かつ効果的な指導が行われるよう努めます。
18	1	・「給食」という名称を使うなら、教育の現場では、もちろん全員喫食が大前提ですね。 ・その上にとって、無償であるべきも当然です。(義務教育の中では) ならば、デリバリー方式は考えられません。 良いと考えられるやり方は、優位性の順で ①自校調理方式②給食センター方式③親子方式です。 そのためには、お金も場所も人員も必要となることは誰が考えてもわかります。 成長期の子どもに栄養価の高い昼食を提供するのは、市や国のつとめです。 そういうことに私たちの税金は使ってほしいです。一貫校と他の中学で格差があってはダメですね。 ①②③のいずれかの方式がとれるまでは、今のままで良いと考えます。	中学校等給食の無償化の実施については、No.1-1に同じです。 提供方式については、No.2-1に同じです。 市内の中学校等の給食の提供方式が異なることについては、No.2-2に同じです。
19	1	自校方式をして下さい。	提供方式については、No.2-1に同じです。

19	2	<p>最近の事ですDGGSに合っていないです。 以前の学技給食は、せともので子ども食育を豊かに育てました。 子ども達が喜ぶ、食事を考えて下さい。</p>	<p>全員喫食制の中学校等給食については、成長期にある全ての生徒に安全・安心で栄養バランスの取れた食事を提供しつつ、望ましい食習慣の定着等の食育を推進することなどから、SDGsに資するものであると考えます。 給食の実施にあたっては、安全性等を考慮した適切な食器を選定します。 また、楽しく食事をすることの重要性を一層感じていただけるような様々な取組みを展開しつつ、おいしく、必要な栄養素及びエネルギーを適正にバランス良く摂取できる魅力的な給食となるよう鋭意取り組みます。</p>
19	3	<p>地産、地消を大事にするが子どもの食を置かにする事にもなると思います。</p>	<p>地産地消の促進については、No.14-1に同じです。</p>
20	1	<p>P1 本来「食育基本法」が制定されたのを受け、中学校給食がどうあるべきか検討すべきではなかったのではないのでしょうか？府内の「全員喫食制」の流れや「守口行政経営プラン」で取組を進めるといのは、受け身すぎではないのでしょうか？</p>	<p>食育基本法の制定のみならず、本市の中学校等給食を取り巻く様々な状況等を鑑み、今般、本市として、新たに全員喫食制による給食の実現を目指し、実施方針を策定するものです。</p>
20	2	<p>P2. 同じ守口市内で、体制が異なることは問題ではないのでしょうか？今回でこれが解消されるのでしょうか？</p>	<p>市内の中学校等の給食の提供方式が異なることについては、No.2-2に同じです。</p>
20	3	<p>P7. さつき学園においての、特殊性により「自校方式」により実施したとありますが、その時点で他の中学校も「自校方式」を模索すべきではなかったのでしょうか？</p>	<p>さつき学園以外の中学校においては、施設の規模・状況等を鑑み、自校方式は導入できないと考えます。</p>
20	4	<p>P8. 喫食率の学校別の説明で、さつき学園で前期課程からの「自校方式」の経験から選択制になっても学校給食の喫食率が高いとあります。喫食率を上げるためには、「自校方式」が必要と考えます。さらに、ランチルームの広さを問題にされていますが、他の学校のランチルームの状況はどうなっていますか？選択制導入の時にこの点は考慮されなかったのでしょうか？</p>	<p>今後の全員喫食制の導入後においては、喫食率の向上を目指すのではなく、基本方針に掲げる中学校等給食の実現に向け、鋭意取り組みます。 また、さつき学園以外の中学校のランチルームについては、選択制導入時点のアンケート調査等に基づく想定に応じた規模であるとともに、改修等によっても、全生徒が喫食することはできません。</p>
20	5	<p>P9. 給食を利用しない理由に、「子どもが希望しないから」「事前予約が面倒だから」挙げられています。選択制の大きな欠点ではないかと思いますが、これへの改善はなされてこなかったのですか？</p>	<p>本市では、これまで、喫食率の向上に向け、「コラボ給食」等を実施するとともに、事前予約の利便性向上に向けて、予約システムの改善等に取り組んできました。</p>
20	6	<p>P9. 家庭からの弁当の選択肢は保証されないのですか？</p>	<p>全員喫食制の導入後においても、アレルギー疾患をはじめとする様々な理由により、給食が食べられない場合には、弁当を持参することなどは可能です。</p>
20	7	<p>P10. 学校給食の課題として3つ挙げられていますが、今回の見直しでどの程度解消されるのですか？</p>	<p>実施方針に掲げる取組みを推進することが、本市の中学校等給食の主な3つの課題の改善等に繋がると考えます。</p>
20	8	<p>P12. 「調理業務の業務委託を前提として、適切な民間事業者を選定・・・」とありますが、本来どうあるべきかを考えることが大切であり、前提条件を設けるというのは問題ではないのでしょうか？</p>	<p>調理業務については、No.2-2に同じです。</p>
20	9	<p>P12. 「HACCPに沿った衛生管理に努めます」とありますが、努めるのではなく遵守する基準だと考えます。</p>	<p>民間事業者の給食調理場では、HACCPに沿った衛生管理が実施されることはもとより、本市では適宜その検査を行うなどの徹底に努めます。</p>
20	10	<p>P13. 「献立は手作りを基本とするため・・・努めます。」とありますが、努力目標ではなく手作りにすべきではないのでしょうか？</p>	<p>魅力的な給食の一環として、献立の多様性等の観点から、手作りを基本とするものの、既製品を食材とすることも想定されます。</p>
20	11	<p>P14. 「食育の推進」、「地産地消の促進」は努力目標ですか？</p>	<p>「食育の推進」、「地産地消の促進」については、いずれも基本方針である「「生きた教材」としての給食」を実現するための取組方針です。</p>
20	12	<p>P15. 中学校給食がどうあるべきから議論をスタートすべきでないのでしょうか？</p>	<p>本市における今後の中学校等給食のあり方を含む基本的な方向性については、実施方針にお示しするとおりです。</p>
20	13	<p>P15. 「自校方式」と「デリバリー方式」でどちらが本来あるべき姿とお考えですか？2つの方式は今回においても解決されないのですか？</p>	<p>提供方式については、No.2-1に同じです。</p>
20	14	<p>P15. ランチボックスの場合は、児童の残菜状況がわからなくなるという欠点があると思いますが？</p>	<p>ランチボックス形式による場合にも、喫食後の回収時に計量するなどにより、残菜の状況を把握することは可能です。</p>
20	15	<p>P15. 「事業者の提供可能な食数に差異がある」とありますが、事業者に対応する必要があるのですか？仕様書にアレルギー対応を記載しておけば、問題はないように思いますか？</p>	<p>業務委託の仕様内容については、一定の競争性が担保されることを前提として、民間事業者が対応可能なものであることは必要であると考えます。</p>
20	16	<p>P15. 配膳・喫食の時間の問題ですが、工夫して給食・昼休みの時間延長することはできないのですか？</p>	<p>教室への導線計画やランチボックス形式での提供などの効率的な工夫に加えて、昼休み時間(45分)の変更の可能性も含め、適切な配膳・喫食が可能となるよう検討します。</p>
20	17	<p>P16~17. 乱暴な議論かもしれませんが、3つのブロックに分け、直営でセンター方式はできないのでしょうか？用地としては、統廃合した学校の跡地を一部学校用地として確保しておけば可能ではなかったのでしょうか？ 今回新体育館の建設が断念されましたが、旧寺方小学校の跡地を直営の調理方式での給食センターとして活用できませんか？</p>	<p>センター方式の導入については、No.4-1に同じです。</p>
20	18	<p>P16~17. デリバリー方式にしても、守口市内にどう調理をする場所が確保できるのですか？</p>	<p>デリバリー方式の場合には、適切な配送等は前提とするものの、必ずしも本市域内に調理場を設置する必要はありません。</p>
20	19	<p>P18. 中学校給食の無償化は、多大な支出を伴うとありますが、どの程度でしょうか？</p>	<p>生徒数と給食実施日数によって異なりますが、単年度あたり約2億〜3億円程度の支出が見込まれます。</p>

20	20	<p>p 22. 保護者の回答率は如何ほどですか？学校による偏りはないですか？</p>	<p>保護者の回答率については、複数の子どもがいる世帯等により、正確な母数を補足できないため、記載していません。 また、学校毎に回答数の差異はあるものの、すべての学校において、アンケート調査としては、有意な結果としての一定の回答数が確保されています。</p>
20	21	<p>P23 親のデータと比較する為に、%表示も必要ではないでしょうか？ 学年による各データの差は如何ほどありますか？年齢による差異はないのでしょうか？</p>	<p>当該設問については、あてはまる主なものを3つまで選ぶものであり、正確な母数を補足できないため、回答率を記載していません。 また、保護者の回答率については、No.20-20に同じです。 学年毎の差異についても、回答率は同様に正確な母数を補足できません。また、回答数の多い項目の学年毎の顕著な差異もありません。</p>